

**日本福祉大学社会福祉総合研修センター主催**  
**2019年度 第2号研修「不特定多数の者対象」**  
**第2回介護職員等によるたんの吸引等研修事業 受講者募集要項**

日本福祉大学では、2012年4月1日改正「社会福祉士及び介護福祉士法」にもとづき、特別養護老人ホームその他において、必要なケアをより安全に提供するため、適切にたん吸引等を行うことができる介護職員等を養成することを目的とした研修事業を以下の要領で開催します。受講ご希望の方は以下の要項および別紙「業務規程」をよくお読みの上、所定の期間内にお申込みください。

記

- 1 主催（研修機関）  
学校法人日本福祉大学（社会福祉総合研修センター）
- 2 研修内容  
第2号研修（不特定多数の者を対象とし、実施できる特定行為の範囲が ①口腔内喀痰吸引 ②鼻腔内喀痰吸引 ③気管カニューレ内部喀痰吸引 ④経鼻経管栄養 ⑤胃ろう又は腸ろうによる経管栄養）の5行為  
※カリキュラムは大きく分けて以下の2つから成ります。  
1）基本研修（本学内で講義・筆記試験・シミュレータ演習をおこなう）  
2）実地研修（自施設もしくは他施設で指導看護師と利用者の協力のもとで実習をおこなう）
- 3 研修日程・会場  
別紙1のとおり
- 4 研修期間  
2019年9月26日～2020年8月30日
- 5 定員  
40名
- 6 受講料  
基本研修、実地研修、免除科目の状況によって受講料は異なります。以下の受講料のほか、テキスト代（2,160円）が必要です。また、保険料は全て受講料に含まれます。費用は全て税込です。

受講タイプ	受講研修の組み合わせなど	受講料の目安
実地研修の＋ 基本研修の方	A 基本研修＋ <u>自身で手配した実地研修先</u> で実地研修をおこなう方	85,000円
	B 基本研修＋ <u>本学仲介の実地研修先</u> で実地研修をおこなう方 注1※ 実地研修科目（行為）は1科目（行為）につき20,000円	110,000円＋20,000円× 実地研修科目（行為）数
実地研修のみの方	C 基本研修は本学主催か本学以外かを問わず、いずれかの研修機関で修了済みで、 <u>実地研修(注1※)のみ自身で手配した実地研修先</u> でおこなう方 注1※実地研修科目（行為）数に関係なく一律の費用です 注2※実地研修オリエンテーションへ出席してください	20,000円
	D 基本研修は <u>本学主催研修で修了済み</u> で、 <u>実地研修(注1※)のみ本学仲介の実地研修先</u> でおこなう方 注1※実地研修科目（行為）は1科目（行為）につき20,000円 注2※実地研修オリエンテーションへ出席してください	45,000円＋20,000円× 実地研修科目（行為）数
	E 基本研修は <u>本学以外の研修機関で修了済み</u> で、 <u>実地研修(注1※)のみ本学仲介の実地研修先</u> でおこなう方（注2※） 注1※実地研修科目（行為）は1科目（行為）につき30,000円 注2※実地研修前に別途、手技確認（実地研修行為のみ）及びオリエンテーションを行いません。手技確認を行う日については、受講決定後に日程調整させていただきます	45,000円＋10,000円（手技確認費）＋30,000円× 実地研修科目（行為）数

注1※実地研修科目（行為）は5行為（口腔内吸引、鼻腔内吸引、気管カニューレ内部吸引、経鼻経管栄養、胃ろう又は腸ろうによる経管栄養）の範囲です

## 7 受講資格

以下①、②のいずれかの要件を満たす方に限ります。

- ①特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、障害者（児）施設等、居宅サービス事業所等に勤務の介護職員等（介護福祉士を含む）の方で、たん吸引等を必要とする利用者がいる等、業務上本講習受講が必要で、所定のカリキュラムをすべて受講できる方
- ②介護福祉士等で、所定のカリキュラムをすべて受講できる方

## 8 申込方法

1) 本学の「業務規程」をご理解のうえ、以下の書類を揃えて、所定の応募期間内に郵送してください。

①たんの吸引等研修（第2号研修）受講申込書

②喀痰吸引等研修受講上の重要事項チェック・誓約書

※基本研修と実地研修を申込み者と、実地研修のみを申込み者とで異なります。ご注意ください。

③修了証明書もしくは一部履修証明書の写し（「研修の一部履修免除」に該当する場合のみ）

※介護福祉士登録証のみの提出では免除となりません（修了科目が確認できる証明書が必要）

④免除（または一部履修済み）科目等についての申告書

## 9 応募書類受付期間

2019年8月1日～2019年8月30日必着 ※定員になり次第締め切ります

## 10 受講決定

応募書類確認の上、受講決定者には2019年9月5日～9月6日の期間に、「受講決定通知書」をFAXまたは封書で連絡します。受講料入金をもって受講正式決定とします。

開講日には、受講決定通知書をご持参下さい。

## 11 応募書類郵送先・お問い合わせ先

日本福祉大学社会福祉総合研修センター たんの吸引等研修事務担当

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-22-35 電話 052-242-3069 FAX052-242-3020

## 注 意 事 項

- 1 本研修は先着順受付ではありません。各申込書類を確認し、研修受講に適格と認められた方のみ受講可といたします。
- 2 定員設定にかかわらず、実地研修の受け入れ条件等やあるいは研修受講の優先性・必要性等について勘案の上、受講決定をさせていただきますので、予めご了承ください。
- 3 以下①～⑤の方は、研修の**一部履修免除対象**となりますので、①～③、⑤の方は「修了証明書」「履修証明書」の写しを、④の方は、「喀痰吸引等研修一部履修証明書」の写しを、⑥の方は「修了証明書」又は「認定特定行為従事者認定証」の写しを申込時に必ず提出してください。

- ①「特別養護老人ホームにおけるたんの吸引等の取扱について」（平成22年4月1日医政発0401第17号厚生労働省医政局長通知）に基づくたんの吸引等を適切に行うために必要な知識及び技術に関する研修を修了した方。（いわゆる「経過措置」の方）
- ②平成22年度に厚生労働省から委託を受けて実施された「介護職員によるたんの吸引等の試行事業（不特定多数の者対象）」の研修（平成22年度老人保健健康増進等事業「介護職員によるたんの吸引等の試行事業の研修のあり方に関する調査研究事業」）を修了した方。
- ③「平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業の実施について」（平成23年度10月6日老発1006第1号厚生労働省老健局長通知）に基づく研修を修了した方。
- ④平成24年度以降に「たん吸引等研修 第1号・第2号研修（不特定多数の者対象）」を受講するも、やむを得ず途中修了となり、「一部履修証明書」をお持ちの方。
- ⑤介護福祉士養成機関で「医療的ケア」の講義・演習を履修した方。
- ⑥不特定の者対象で一部の行為に対して修了した方。もしくは、認定特定行為従事者認定証を取得した方。

※第3号研修（特定の者対象）修了者には免除はありませんので、ご注意ください。

- 4 受講可否通知は2019年9月5日～2019年9月6日の間に、順次申込者全員に発送しますので、それ以前のお電話等による可否のお問い合わせは御遠慮ください。万一通知が届かない場合は2019年9月9日以降、本学までご連絡ください。
- 5 自身で実地研修先を確保される場合でも、「本学主催の研修において、実地研修を依頼する」という位置づけから、本学とその実地研修先の間で、委託契約を締結させていただきますので予めご承知おきください。（別添「**介護職員等の喀痰吸引等研修にかかわる実習委託契約書**」参照）
- 6 本研修修了者には本学より「**喀痰吸引等修了証明書**」をお渡ししますが、本証明書の送付については、実地研修実施報告書の提出から1ヶ月程度時間を要することがありますので、予めご了承ください。
- 7 本研修修了者が、実際にたん吸引の行為をおこなうためには、修了証明書受領後、各自、住民票のある県に「認定特定行為業務従事者認定証」の交付を申請する必要があります。また、その場合は事業者も別途、県に「登録特定行為事業者」としての登録申請が必要ですのでご承知おきください。

## 研修日程表

## 1. 基本研修（日本福祉大学名古屋キャンパスで実施）

## 1) 講義(計 50 時間+筆記試験)

日程	時間	科目	時間数
第一日目 2019年 9月26日(木)	9時30分～9時45分	開講オリエンテーション	
	9時45分～13時15分	1 人間と社会	
		①介護職員と医療的ケア	0.5
		②介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1
		2 保健医療制度とチーム医療	
		①保健医療に関する制度	1
		②医療的行為に関係する法律	0.5
	14時00分～18時00分	③チーム医療と介護職員との連携	0.5
		3 安全な療養生活	
		①喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	2
	②救急蘇生法	2	
	計	7.5	

日程	時間	科目	時間数
第二日目 2019年 10月2日(水)	9時30分～12時00分	4 清潔保持と感染予防	
		①感染予防	0.5
		②職員の感染予防	0.5
		③療養環境の清潔、消毒法	0.5
	13時00分～16時00分	④滅菌と消毒	1
		5 健康状態の把握	
		①身体・精神の健康	1
		②健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	1.5
	③急変状態について	0.5	
	計	5.5	

日程	時間	科目	時間数
第三日目 2019年 10月17日(木)	9時30分～17時30分 (1時間昼休憩)	6 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論	
		①呼吸のしくみとはたらき	1.5
		②いつもと違う呼吸状態	1
		③喀痰吸引とは	1
		④人工呼吸器と吸引	2
		⑤子どもの吸引について	1
	⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5	
	計	7	

日程	時間	科目	時間数
第四日目 2019年 10月30日(水)	9時30分～18時30分 (1時間昼休憩)	⑦呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)	1
		⑧喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	1
		⑨急変・事故発生時の対応と事前対策	2
		7 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説	
		①喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
	②吸引の技術と留意点	3	
	計		8

日程	時間	科目	時間数
第五日目 2019年 11月14日(木)	9時30分～17時00分 (1時間昼休憩)	③吸引の技術と留意点	2
		④喀痰吸引にともなうケア	1
		⑤報告および記録	1
		8 高齢者および障害児・者の経管栄養概論	
		①消化器系のしくみとはたらき	1.5
	②消化・吸収とよくある消化器の症状	1	
	計		6.5

日程	時間	科目	時間数
第六日目 2019年 11月27日(水)	9時30分～18時00分 (1時間昼休憩)	③経管栄養とは	1
		④注入する内容に関する知識	1
		⑤経管栄養実施上の留意点	1
		⑥子どもの経管栄養について	1
		⑦経管栄養に関係する感染と予防	1
		⑧経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
		⑨経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1
		⑩急変・事故発生時の対応と事前対策	1
		計	

日程	時間	科目	時間数
第七日目 2019年 12月12日(木)	9時30分～18時30分 (1時間昼休憩)	9 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説	
		①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
		②経管栄養の技術と留意点	5
		③経管栄養に必要なケア	1
	④報告および記録	1	
	計		8

日程	時間	科目	時間数
第八日目 2019年 12月25日(水)	10時00分～11時00分	筆記試験	1
	12時00分～12時30分 (予定)	結果発表	0.5
	12時30分～13時00分 (予定)	実地研修オリエンテーション	0.5
	13時15分～15時15分 (予定)	救急蘇生(演習)	2

※講義予備日・筆記試験追試日 2019年12月26日(木)・12月27日(金)

## 2)シミュレータ演習

日程	時間	演習
2020年1月15日(水)	各日9時30分～修了まで	たん吸引
2020年1月16日(木)		経管栄養
2020年1月23日(木)	各日9時30分～修了まで	たん吸引
2020年1月24日(金)		経管栄養
2020年1月28日(火)	各日9時30分～修了まで	たん吸引
2020年1月29日(水)		経管栄養
2020年2月5日(水)	各日9時30分～修了まで	たん吸引
2020年2月6日(木)		経管栄養

※シミュレータ演習予備日 2020年2月7日(金)

## 2. 実地研修(各自所定の施設にて演習)

期間 2020年2月10日(月)～2020年8月30日(日)

## 3. 研修修了日 2020年8月30日(日)